

V-beam pulsed-dye Laser とは

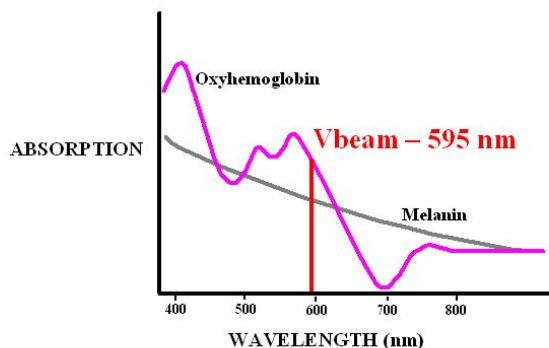


「V-Beam」とは、血管性病変の治療目的に開発された「ダイレーザー」を改良したパルス波色素ダイレーザーものです。パルス幅は可変式なため、赤あざの治療目的だけでなく、赤ら顔、ニキビ・ニキビ痕、酒さなど様々な用途があります。

Vbeam から発振される波長 595 ナノメートルのレーザー光は、血液中のヘモグロビンに選択的に吸収され熱変換することで治療効果をもたらします。また、Vbeam はレーザーのパルス幅(照射時間)を調節できるため毛細血管の血管径に応じた照射時間を適宜設定することが可能となりました。皮膚冷却装置がついているため、表皮へのダメージが少なく、照射時の痛みもより少なくなりました。

Candela 社の Vbeam は、厚生労働省より日本で使用認可を受けているため、ポートワイン母斑や血管腫などの血管病変治療に健康保険が適応されます。

さらに、保険診療適応外ですが、Vbeam 照射によりコラーゲンの造成をもたらすため、皮膚の若返り、日焼けや加齢によるしみ、細かいしわなどの治療が可能です。



対象疾患

単純性血管腫、莓状血腫、毛細血管拡張症、赤ら顔等の赤いものに効果があります。また、ニキビなどの炎症により赤くなっている部分にも効果があります。また、小じわにも効果があります。

治療後の経過

赤あざや毛細血管拡張などでは血管の中の血液が焼けるため、今まで赤かったところが黒や紫色のあざのようになる(内出血を起こす)場合がありますが、2~3週間で徐々に吸収されます。

ニキビの炎症や、小じわとりでは治療後の副作用はほとんどありません。治療効果は個人差がありますので数回の治療を必要とすることがあります。

症例

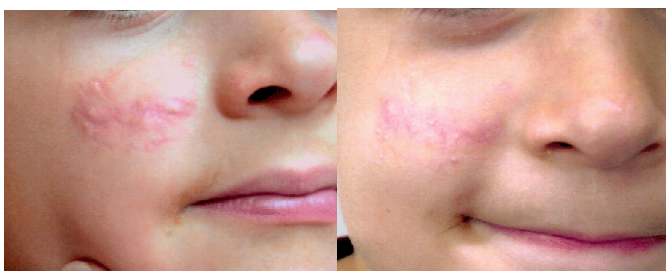
単純性血管腫照射前

照射後



右頬部癬痕照射前

照射後



血管腫照射前

照射後



毛細血管拡張症

照射後



目じりのしわ

照射後

